

平成23年3月25日

農政部技術支援課(内線3036)

放射性物質汚染に対する農産物の安全調査について

県では国の支援協力を受けて、東京電力福島第一原子力発電所から漏れた放射性物質による県内農産物の安全確認調査を行いました。3月24日に現地ほ場から農作物を採取し、本日分析を行ったところ、3月20日に暫定規制値を超えたホウレンソウ及びカキナをはじめ、全ての調査対象作物について暫定規制値を下回っていました。

1 調査地域

伊勢崎市、渋川市、榛東村、館林市、高崎市 計 5市村 6カ所

2 調査対象作物

- ・初回調査 トマト、ミズナ、チンゲンサイ、イチゴ(施設栽培)
- ・前回暫定規制値を超えた ホウレンソウ、カキナ(露地栽培)

3 採取日

平成23年3月24日

4 分析及び結果判明日

平成23年3月25日

5 調査結果の概要

調査を行った全ての農産物について、暫定規制値以下でした。

詳細は、別紙のとおり

6 分析機関

独立行政法人 農業環境技術研究所

(別紙)

サンプリング調査結果

分析機関：(独) 農業環境技術研究所

分析日：3月25日

採取日：3月24日

市町村	品目	放射性物質の濃度 (Bq/kg)	
		放射性セシウム	放射性ヨウ素
伊勢崎市	トマト (施設栽培)	0.61	6.05
渋川市	ミズナ (施設栽培)	71.80	201
榛東村	チンゲンサイ (施設栽培)	12.51	39.3
館林市	イチゴ (施設栽培)	2.63	28.4
伊勢崎市	ホウレンソウ (露地栽培)	前回 310	前回 2,630
		今回 230	今回 1,440
高崎市	カキナ (露地栽培)	前回 555	前回 1,910
		今回 148.6	今回 872

※ 暫定規制値：放射性セシウム 500Bq/kg
放射性ヨウ素 2,000Bq/kg

※ホウレンソウ及びカキナについては、国からの指示に基づき出荷自粛中です。

- 1 ホウレンソウ、カキナは前回の分析で暫定規制値を超えたものの再調査である。
ミズナ、チンゲンサイは本県で出荷がさかんな葉菜類(葉物野菜)で、まだ分析していないものを選んだ。
トマト、イチゴは、果菜類にも分析の範囲を広げる観点から現在、出荷量の多い品目を選んだ。
- 2 現在、出荷されているこれらの品目は、すべて施設栽培である。
- 3 ミズナ、チンゲンサイは、4月以降に露地にタネまきを開始する。トマト、イチゴの露地栽培は群馬県では行われていない。